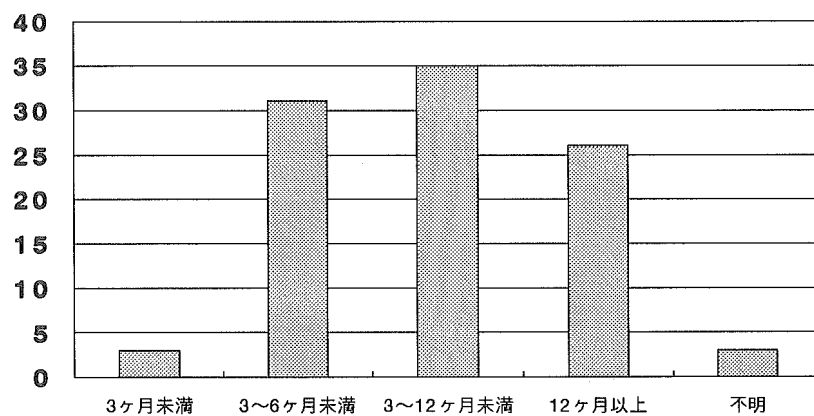


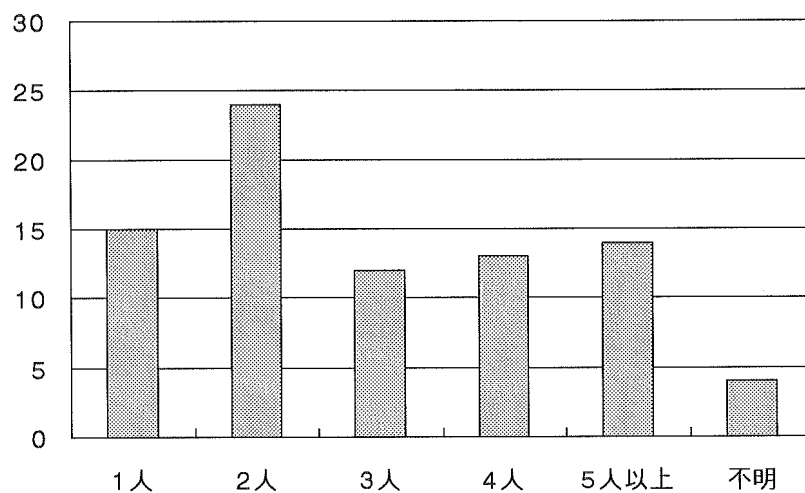
歯科医師の麻酔科研修期間

施設数

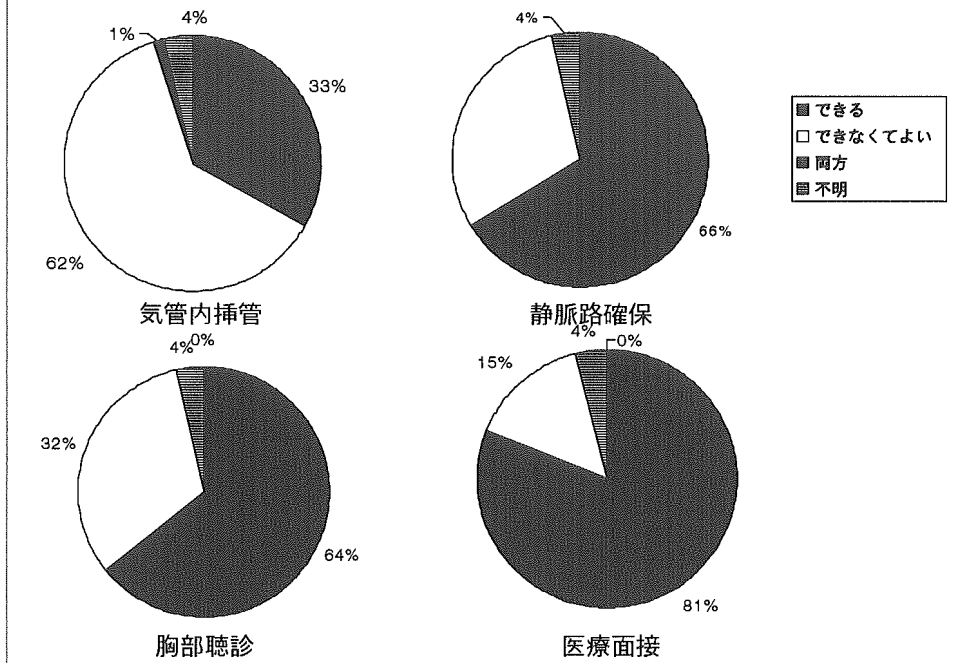


歯科医師の1施設あたりの年間の研修人数

施設数



歯科医師の研修開始時に期待する技能

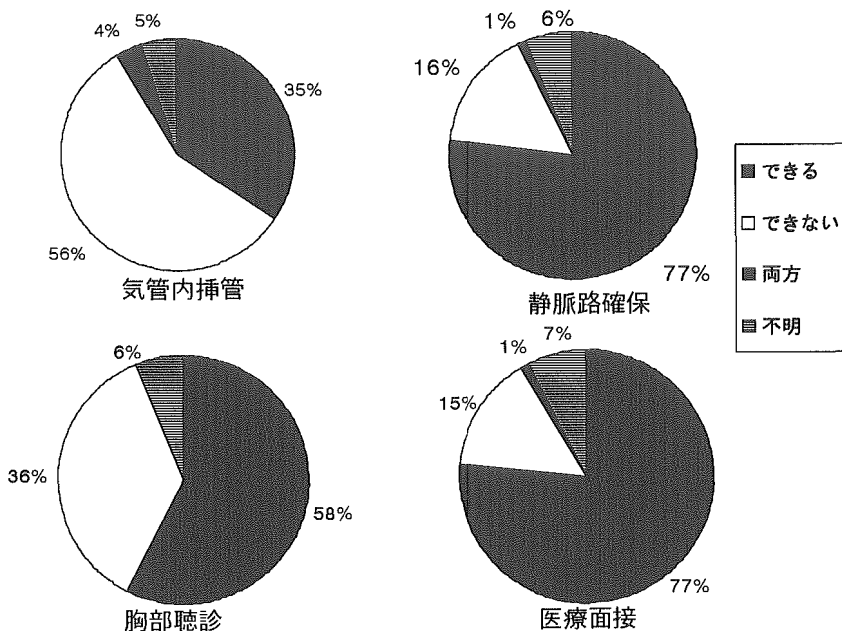


歯科医師の研修開始時に期待する技能

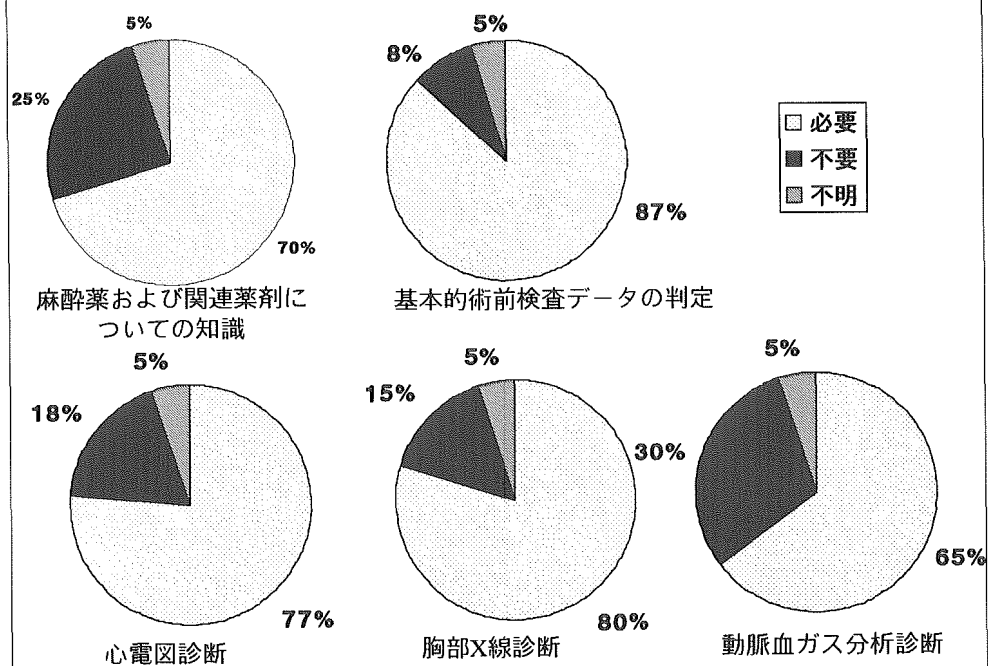
その他コメントの内訳

- ・ 卒後1年目なら何もできなくてよい.
- ・ 何も出来なくてよいが静脈確保ができるとうよい.

研修開始時の歯科医師の実際の技能



研修開始時の歯科医師に期待する知識

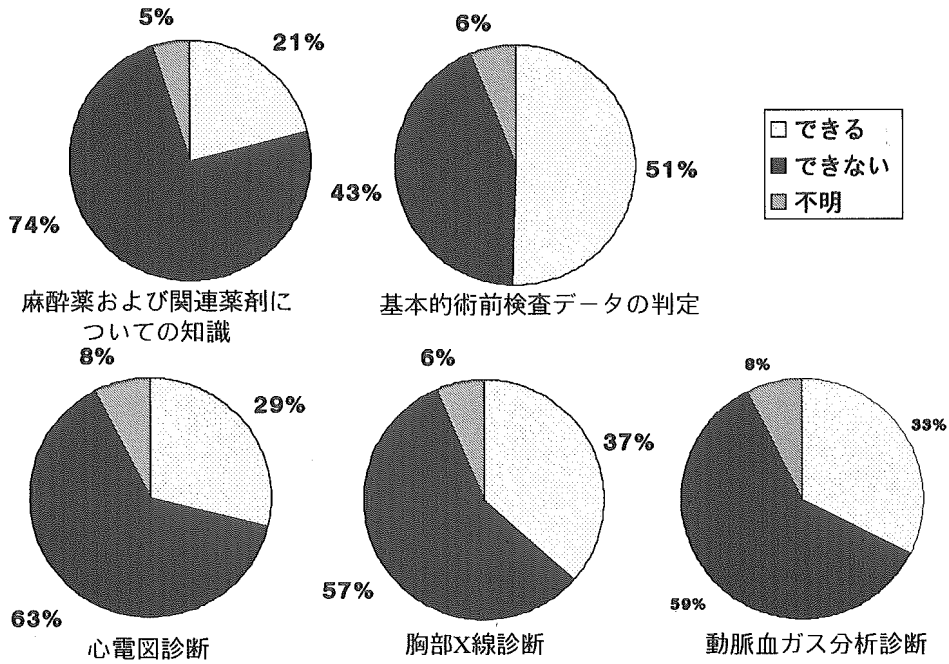


研修開始時の歯科医師に期待する知識

「その他コメント」の内訳

- ・生理学の知識
- ・外科学内科学の基礎的な知識
- ・簡単な麻酔ハンドブック程度の知識

研修開始時の歯科医師の実際の知識



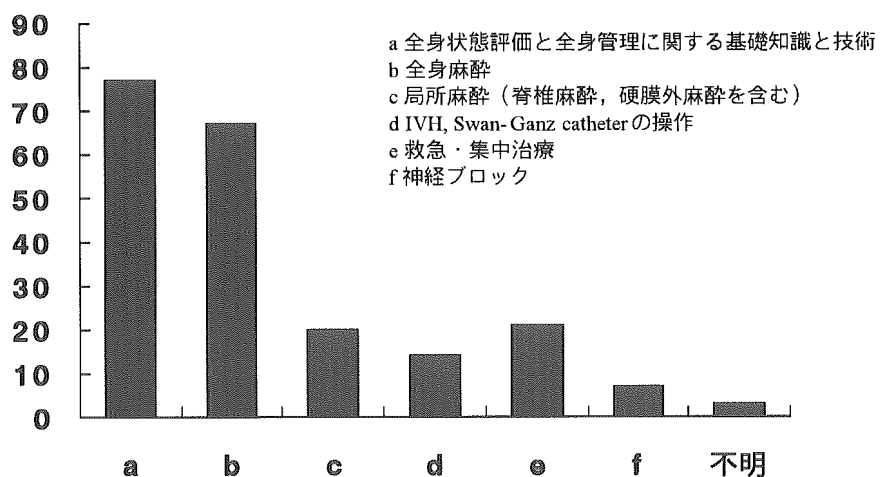
研修開始時の歯科医師の実際の知識

その他コメントの内訳

- ・ 病棟勤務の少ない者はできない傾向にある
- ・ 心電図，胸部X線診断はある程度できるが不十分
- ・ 正常と異常の判断はできるが重要度の判定ができない。
- ・ 口腔，咽頭，喉頭の解剖をよく理解している

研修終了時に歯科医師に修得して欲しいもの

施設数



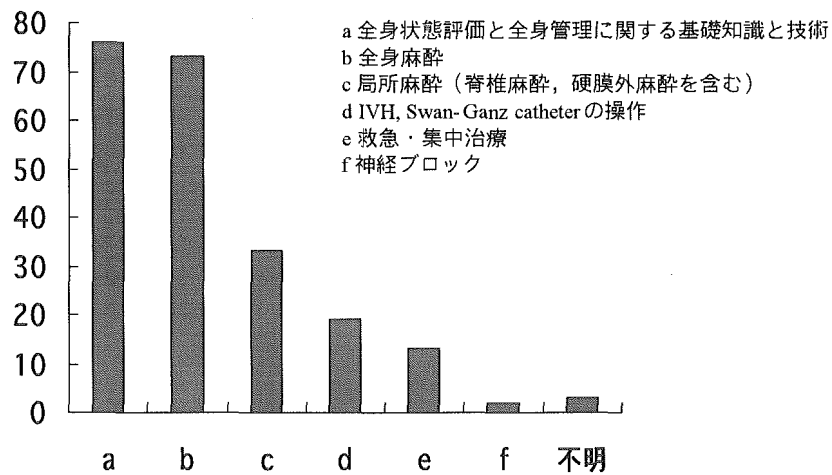
研修終了時に歯科医師に修得して欲しいもの

その他コメントの内訳

- ・ 全身麻酔の生体への影響
- ・ 酸素飽和度モニタの理解

研修終了時に歯科医師が修得した内容

施設数

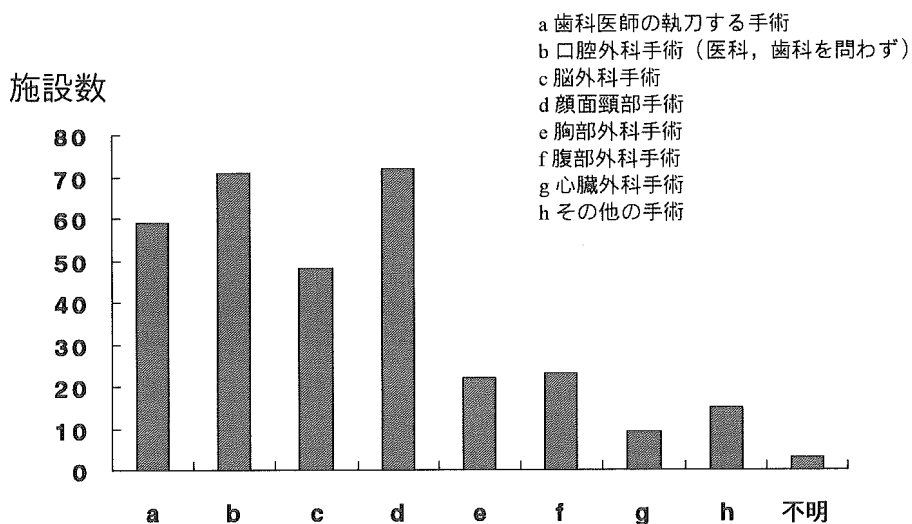


研修終了時に歯科医師が修得した内容

「その他コメント」の内訳

- ・特に経鼻気管内挿管，マスク換気，静脈確保，
昇圧剤・降圧剤の使用法，モニタの理解

研修中に歯科医師が担当する手術



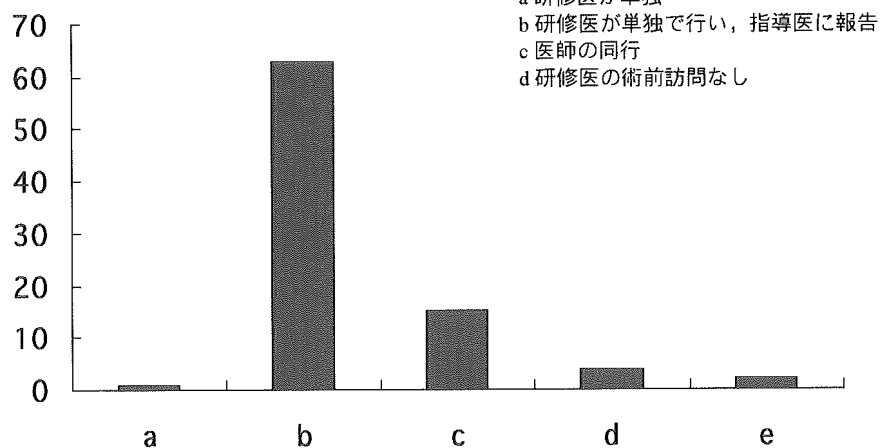
研修中の歯科医師が担当する手術の種類

「その他の手術」の内訳

- ・ 整形外科
- ・ 産婦人科
- ・ 泌尿器科
- ・ 皮膚科
- ・ 形成外科
- ・ 心臓以外全て
- ・ 一般研修医と区別していない

歯科研修医の術前患者訪問について

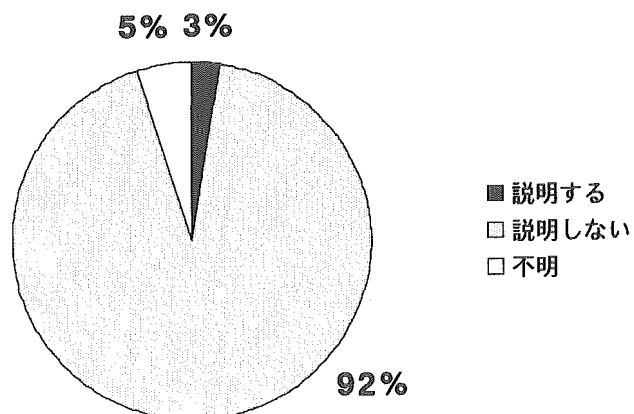
施設数



術前患者訪問（前投薬処方を含む）について

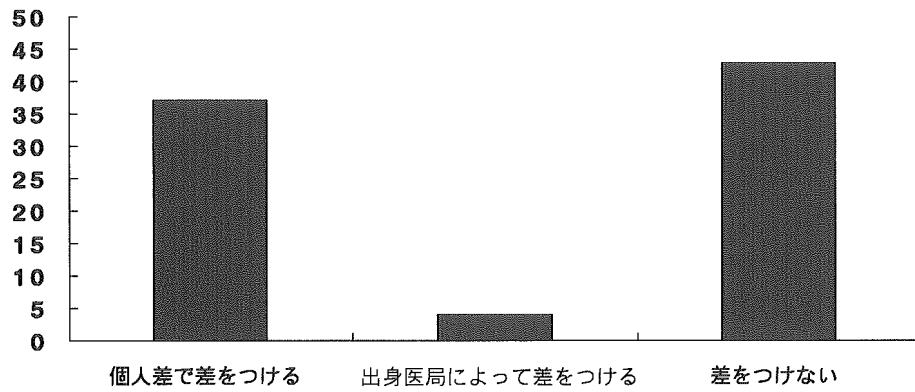
- ・ あらかじめ総合術前診察を麻酔指導医が行い、麻酔前投薬を処方している（医科研修医も同様）
- ・ 指導医と別々に訪問，その後症例検討を行う
- ・ 前投薬，輸液は指導医の指示に従う
- ・ 今後、同行を考慮中

歯科医師が麻酔担当であることを説明するか

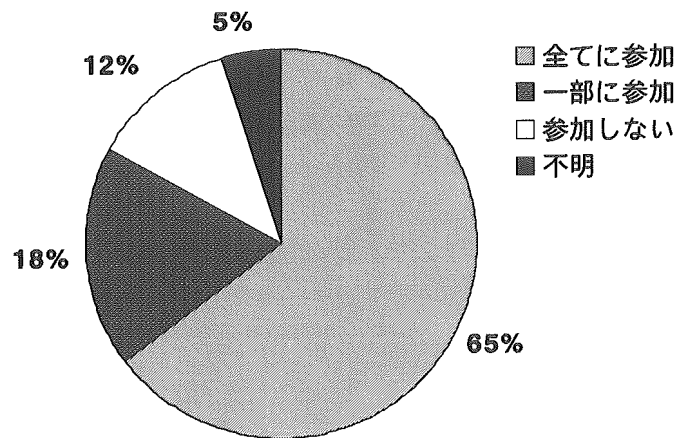


歯科医師によって研修内容に差をつけるか

施設数



研修歯科医師は医局行事に参加するか



アンケート項目以外での意見

- ・ 歯科医師の研修も他科のローテータと同様に扱っている
- ・ 歯科麻酔も全身管理が必要。特殊な分野（開胸，開心）を除いて数多くの症例の研修を行わせ，しっかりした知識，技術を修得させるべき
- ・ 歯科医師は全身管理の知識が必要（救急処置を含め）
- ・ 歯科研修医は常にスタッフとペア（単独行動しない）
- ・ 全身麻酔方法，投薬は指導医がチェック
- ・ リスクの悪い患者を扱うことで病態医学用語など様々なものを学ぶよい機会になり，必ず歯科専門医として役立つものと信じている
- ・ 歯科医師は救急に対応できる必要がある。全身を診れない歯科医師，口腔外科医では患者は不安に思う。
- ・ 方針決定まで半年程、研修受け入れをやめている
- ・ 当科としては研修させたいが、学部・病院で歯科研修を検討中のため今後どうなるか不明